

## 執筆 者 紹 介

ERKIN H. Can (エルキン・H・ジャン)

アンカラ大学准教授

アンカラ大学卒業。北海道大学大学院修士課程修了。アンカラ大学大学院博士課程修了。研究分野は日本の近世対外関係史。訳書（トルコ語訳）に川端康成『古都』、山本常朝『葉隠』、宮沢賢治『注文の多い料理店』、太宰治『人間失格』、村上龍『コインロッカー・ベイビーズ』、安部公房『砂の女』など、論文に「16世紀日本における「外国人」の法的位置」（『歴史学研究』740、2000）、「豊臣政権における外交機能の形成」（『日本歴史』655、2002）、「近世日本におけるトルコ認識の形成と変遷—19世紀前半を中心として—」（『立教大学日本学研究所年報』5、2006）などがある。

小島孝之（こじま・たかゆき）

東京大学名誉教授、成城大学教授

東京大学卒業。東京大学大学院博士課程中退。研究分野は中世文学。著書に共編『撰集抄』（桜楓社、1985）、校注・訳『宇治拾遺物語』（日本の文学）（ほるぶ出版、1987）、校注『閑居友』（新日本古典文学大系 40）（岩波書店、1993）、『中世説話集の形成』（若草書房、1999）、校注・訳『沙石集』（新編日本古典文学全集 52）（小学館、2001）、編集『説話の界域』（笠間書院、2006）などがある。

金 学淳（KIM Hark Soon キム・ハクスン）

筑波大学大学院在学中

高麗大学卒業。高麗大学大学院博士課程修了。研究分野は馬琴読本を中心とした江戸後期の長編小説。論文に「馬琴『椿説弓張月』の長編化分析」（高麗大学日本学研究所「日本研究」5、2006）、「馬琴『椿説弓張月』の長編化構想」（『文学研究論集』24、2006）、「江戸時代の商業出版・商業作家—馬琴を中心にして—」（高麗大学日本学研究所「日本研究」7、2007）、『南総里見八犬伝』の長編構想—「勸善懲悪」をモチーフとする小物語の反復と

連鎖一」(「文学研究論集」25、2007) などがある。

#### Matthew FRALEIGH (マシュー・フレアリ)

ブランダイス大学准教授

スタンフォード大学卒業。ハーバード大学大学院博士課程修了。京都大学に研究生として留学。研究分野は日本近世・近代文学、特に漢詩文。論文に「航西の東道主人—成島柳北「航西日乗」とそれ以前の海外紀行文」(「京都大学国文学論叢」8、2002)、「成島柳北の洋行—「航西日乗」の諸コンテクスト」(「国語国文」71 (11)、2002)、「Terms of Understanding: The Shôsetsu according to Tayama Katai」(「Monumenta Nipponica」58 (1)、2003)、「El ingenioso samurai Don Kihote del Japón: Serizawa Keisuke's Don Quixote Picture Book」(「Review of Japanese Culture and Society」18、2006) などがある。

#### 川邊雄大 (かわべ・ゆうたい)

二松学舎大学21世紀COEプログラム研究員

国士舘大学卒業。二松学舎大学大学院博士後期課程満期退学。研究分野は近代日中文化交流史(明治期における東本願寺の清国布教活動)。論文に「『滬游雑記』と『上海繁昌記』について」(「二松」20、2006)、「松本白華と玉川吟社の人々」(「日本漢文学研究」2、2007)、「金沢時代の三宅真軒と北方心泉の交流」(「東洋文化」99、2007) などがある。

#### 金 中 (JIN Zhong キン・チュウ)

西安交通大学准教授

西安交通大学卒業。東京外国語大学博士課程修了。研究分野は古典和歌・日中比較文学・日本詩歌翻訳論。論文に「『床うち払ふ』の系譜—古今集八—五番歌における中国文学の背景を発端に」(「和漢比較文学」31、2003)、「『拳目見日、不見長安』の変容—新古今集九五九番歌の中国文学的背景」(「中国詩文論叢」25、2006)、「新古今集羈旅巻の補入歌—『夕暮の旅愁』を視点に」(「東京外国語大学日本研究教育年報」11、2007) などがある。

**楊 曉捷 (YANG X. Jie ヤン・シヨオジェ)**

カルガリー大学教授

北京大学卒業。京都大学で博士号を取得。研究分野は日本中世文学、特に絵巻の表現とその享受。著書に『鬼のいる光景—『長谷雄草紙』にみる中世』(角川書店、2002)。論文に「絵巻の表現様式への一試論」(『文学』2(5)、2001)、「語りと絵と」(『国文学』47(12)、2002)、「中国絵画の絵と言葉—『晋文公復国図巻』を読む」(『立教大学日本文学』2003・12)、「詩の物語・絵の物語—中国絵巻「胡笳十八拍図」をめぐって」(『海を渡る文学—日本と東アジアの物語・詩・絵画・芸能—』新典社、2007) などがある。

**顧 偉良 (GU Wei Liang コ・イリヨウ)**

弘前学院大学教授

上海外国語大学卒業。日本大学大学院修士課程修了、東海大学大学院博士課程満期退学。研究分野は日本近代文学、日中比較文学。訳書に『殷墟卜辞研究』(島邦男著、濮茅左・顧偉良訳、上海古籍出版社、2006)。論文に「小説としての〈現実性〉—自伝的小説『しろばんば』を視座に—」(『国文学言語と文芸』112、1995)、「『しろばんば』〔前篇〕論—風景の交錯—」(『国文学言語と文芸』114、1997)、「日本文学の発見：俳諧と滑稽の境地—周作人の場合—」(『国際日本文学研究集會会議録』29、2006)、「清朝末期における新小説の万華鏡」(『弘前学院大学文学部紀要』43、2007) などがある。

**クレアモント 康子 (CLAREMONT Yasuko クレアモント・やすこ)**

シドニー大学上級講師

玉川大学卒業。シドニー大学大学院でオーストラリア文学修士、近現代日本文学博士号を取得。研究分野はオーストラリア文学、近現代日本文学、詩と比較文学。著書に『Japanese Prose Poetry』(University of Sydney East Asian Series, No.16) (Wild Peony, Sydney, 2006)、『Dying in a Japanese Hospital』(The Japan Times, Tokyo, 1996)、『A translation of Yamazaki Fumio's Byōin de shinu to iu koto』(Shufu no tomo, Tokyo, 1992)、『Gen'ei: Selected Poems of Nishiwaki Junzaburō(1894-1982)』(University of Sydney East Asian

Series, No.4) (Wild Peony, Sydney, 1991)、『Twentieth Century Australian Poetry』(Tamagawa University Press, Tokyo, 1985) などがある。

#### Urszula STYCZEK (ウルシュラ・スティチェック)

広島大学・県立広島女子大学・広島修道大学 非常勤講師

ワルシャワ大学卒業。広島大学大学院社会科学研究所博士前期課程(国際社会論専攻)修了、広島大学大学院博士前期課程修了(学術修士)。研究分野は原爆文学(原民喜など)、収容所文学(ボロフスキなど)。論文に「原民喜の不安文学」(修士論文)、「人間存在の不安—収容所文学と原爆文学」(学位論文)、「ポーランド映画と椎名麟三」(「椎名麟三—自由の彼方で」4, 1999)、「詩歌で語るヒロシマとアウシュヴィッツ—原民喜とT. ボロフスキ、戦争の悲劇の詩人たち—」(「広島修大論集」47(2), 2007) などがある。

#### 棚町知彌 (たなまち・ともや)

国文学研究資料館名誉教授

九州大学卒業。九州大学大学院修了。研究分野は近世文学。著書に共編『元禄歌舞伎集』(古典文庫、1960-1962)、共著『菅原道真と太宰府天満宮』(吉川弘文館、1975)、共編『白山万句—資料と研究』(白山比咩神社、1985)、共著『歌舞伎番付の総合調査とデータベース化の研究』(園田学園女子大学近松研究所、1993)、共編『社家文事の地域史』(思文閣出版、2005)。論文に「前田綱紀と加賀藩の能」(「演劇研究センター紀要」7, 2006)、「前田綱紀時代の加賀藩資料に見える能楽」(「演劇研究センター紀要」9, 2007) などがある。

#### 郭 南燕 (GUO Nan Yan カク・ナンエン)

オタゴ大学準教授

復旦大学卒業。お茶の水女子大学で修士と博士号を取得。研究分野は日本文学と環境文化。著書に編著『周縁地域の自己認識—津軽とオタゴの知識人を中心に』(弘前大学出版会、2007)、共編著『小笠原諸島—アジア太平洋から見た環境文化』(平凡社、2005)、共著『Tsugaru: Regional Identity on Japan's Northern Periphery』(University of Otago Press, 2005)、共編著『津軽の歴

史と文化を知る』(岩田書院、2004) などがある。

**林 相珉(LIM Sang Min イム・サンミン)**

九州大学大学院在学中

韓南大学卒業。研究分野は日本近現代文学、在日コリアン文化研究。論文に「股裂きの主体を生きる李礼仙・『二都物語』を跨ぎつつ」(「九大日文」7、2006)、「『商品』を生きる都はるみ・中上健次『天の歌 小説都はるみ』に隠された戦略」(「九大日文」8、2006)、「『仕方なくやる』生一李煥成『砧をうつ女』」(「比較社会文化研究」19、2006)、「忘れられた朝鮮—安本末子『にあんちゃん』論—」(「近代文学論集」33、2007) などがある。

**Dennitza GABRAKOVA (デニツァ・ガブラコワ)**

法政大学大学院研究生

ソフィア大学卒業。オレゴン大学大学院修士課程修了、東京大学大学院博士課程修了。研究分野は比較文学、日本近代文学。論文に「異国都市のスペクタクル—夏目漱石と永井荷風における演劇的虚構」(東京大学・修士論文、2004)、「綱渡り芸人の夢—スピヴァク、柄谷行人、島田雅彦との対話」(「比較文学・文化論集」22、2005)、「文明と希望：近代日本における「雑草研究」」(東京大学・博士論文、2007)、「除草できない希望—魯迅の『野草』」(「中国研究月報」61(3)、2007) などがある。